

公益社団法人三州倶楽部  
第7回特別委員会会議録

日時	平成28年7月20日(水)17時～19時15分
出席者	上野博史座長、小森脩一座長代理、(委員)飯山正晃、内田俊一、神田豊、 畠山憲子、浜岡勤 (監事)新徳盛史 (事務局)宮本康生
議題	特別委員会各ワーキンググループ(WG)の進捗状況等
配付資料	地域創生WG 地域創生支援事業(仮称)の創設について(添付 鹿児島県・ 宮崎県の地域創生資料) 財政問題WG 素案、育英事業WG 討議素案、国際委 員会第1回討議資料(世界鹿児島県人会)、
	<p>1. 地域創生 WG</p> <p>内田ヘッドより、配付資料の未来みやざき創造プラン概要、宮崎フードビ ジネス振興構想、かごしま将来ビジョン全体概要、鹿児島まちひとしごと 全体概要、かごしま産業支援センター業務に基づき説明。以下説明の要点。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・両県ともしっかりした地域創生計画があり、両県の要望は、アイデアでは なく計画を実現するための力を貸して欲しいということのようだ。 (地域創生支援事業の創設検討について)</li> <li>・当初講演会を想定したが、地元ニーズはより深く経営のアドバイスを求め ている。海外進出、東京市場開拓など</li> <li>・両県に対し当倶楽部の提供可能なサービス内容等人的資源の情報を提示 し、先方からの要請に応じて活動する。想定される活動内容は、講演会、 勉強会への講師派遣、研究会・調査会への構成員派遣、専門家紹介派遣制 度への登録及び派遣、企業や起業家へのノウハウ提供、人的ネットワーク 紹介、経営サポート、市町村の取組みへの協力、支援。</li> <li>・得意分野等会員情報の整理が先決。だれがどのように作成するか。</li> <li>・人的支援は、県が行う事業に協力する方法で行い直接的な支援は行わない。 (主な発言)</li> <li>・先ず両県の地域創生の取組みや当倶楽部に期待することについて、会員向 けに説明する機会を設けたら如何か。⇒講演会開催に向け総務委員会と協 議、講師の選定は、県東京事務所長にお願いする。(決定)</li> </ul> <p>2. 財政問題 WG</p> <p>神田ヘッドより、配付資料の財政問題WG 報告素案に基づき説明。 (財政健全化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 正会員の増強 ② 賛助会員の増強・準会員等の検討</li> <li>② 収益事業等の活性化</li> </ul>

	<p>(主な発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準会員制度は会員増強 WG で検討されているが、なかなか難しい面もある。</li> <li>・地下和室を模様替えし、県人会事務室等として活用するのはどうか。</li> <li>・立体駐車場は、メンテナンスがやっかい。</li> <li>・健全化対策④として資産の有効活用を追加 金融資産の運用検討と不動産業の収益向上（貸室等事業・駐車場事業）</li> <li>・キャッシュフローが不足する場合、育英基金の目的使用を検討課題とする。</li> </ul> <p>3. 育英事業 WG</p> <p>畠山ヘッドより、配付資料の討議素案に基づき説明。</p> <p>現事業の海外研修等育成事業のほか、①学生、若年層の社会人対象の勉強会、②高校へ会員を講師派遣 ③大学への資金提供</p> <p>② については、以前、教育庁から要請されるも講師派遣の名簿作成が困難な事情から未実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣元の知名度がないと講師派遣の要請があるのかどうか。講師派遣の名簿作成が重要。（関係者言）</li> </ul> <p>④大学等への奨学金提供</p> <p>(主な発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣の名簿作成にあたり、会員の得意分野を把握するためアンケートを実施。会員名簿のデータベース化が先決すべき課題。</li> <li>・現事業以上の資金提供はできず、今後、新たに行う事業は人材派遣に絞る。</li> <li>・分野別に会員を組織化した活動は、退会の歯止めにもなるのではないか。</li> </ul> <p>5. 国際委員会 浜岡委員長より、世界鹿児島県人会の準備状況を報告。</p> <p>6. 特別委員会まとめ方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常任委員会が、特別委員会の決定事項の実行に当たることになるだろうが、どの程度まで詰めたものを特別委員会の結論としたらいいか。</li> <li>・検討結果の枠組み、方向性の決定までではないか。</li> <li>・ WG は、いつまでにまとめなければならないか。</li> </ul> <p>(上野座長)・特別委員会の結論は、方向性、進め方の決定までとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ WG の結果は9月末までに提出していただく。</li> </ul>
日程	<p>今後の特別委員会開催日時</p> <p>9月28日(水)17時、 10月26日(水)17時</p>

